

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2		現在受け入れしておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2		

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	35	個人情報に十分注意しているか	7			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型放課後等デイサービスこすもすカレッジ小金原教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が固定化されておらず、子どもたちの興味やその時々 の状況に応じて、柔軟に活動を組み立てている。	一人ひとりの特性やニーズを踏まえながら、臨機応変に内容を 調整することで、無理なく楽しく取り組める環境を整えてる。 また、提供する活動の種類が多彩であり、運動・創作・調理・ 社会体験など、様々な視点からプログラムを考案・実施してい る	今後は、子どもたちの「やってみたい」「できた」を大切に しながら、より一人ひとりに合った支援を目指している。ス タッフ間の情報共有を強化し、活動の質と安全性を高めてい くとともに、保護者との連携や地域とのつながりも深め、よ り多様な体験の場を提供していく。
2	就労準備に向けて、スタッフが就労継続支援事業所等の見学を 行い、その作業を活動で行う、実際に作業所に見学に行く等就 労に向けての実用的な活動内容がある。	実際に子どもたちが作業所の見学に出向く機会も設け、将来を 具体的にイメージできるよう工夫している。	活動の振り返りや自己理解を深める機会も設け、子どもたち 自身が将来の選択肢を具体的に考えられるようサポートして いる。
3	保護者の方や利用者様の要望・希望を丁寧に受けとめ、日々の 活動内容に反映させるよう心がけている。	活動の中で得られた声をもとに内容を調整したり、新たなプロ グラムを取り入れることで、安心して参加できる環境づくりを 行っている。	面談などを通じて、より多くの声を拾い上げ、支援の質を高 めていく。保護者と連携しながら、個々の目標に合わせた支 援計画の見直しや、活動の幅の拡充にも取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害を想定した避難訓練を定期的に行っているが、保護者 様へ十分な周知が出来ていないこと。	訓練後の情報発信が職員間の確認にとどまり、保護者様に対す る報告が簡略化されていたことが挙げられる。また、日々の連 絡事項が多い中で、災害訓練の内容が埋もれてしまい、重要性 が十分に伝わっていなかった可能性もある	snsや連絡帳を活用し改善していく。 また、保護者様へ訓練の様子や内容についても情報を共有す る。利用者様にはカリキュラムの中で、災害について繰り返し 授業を行い、発生時に行動出来るよう取り組んでいく。
2	地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公 園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援 では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供すること が難しいこと。	平日においても、可能な限り(下校時間が早い時等)公共施 設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やして いく。地域のボランティア団体などの受け入れを行ってい く。
3	地域自立支援協議会等への参加	自らが地域の中の社会資源であるという意識と多職種連携・地 域連携の必要性について把握し日々の業務を行っていくこと。	地域にて開催されている自立支援協議会に参加することで多 職種連携・地域連携できる体制を整えていく。 参加した際には情報共有を行うこととともに、業務を通して 見出される課題を報告し合い地域課題への解決に向けた取り 組みを進めていく。